

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2024年度達成度評価表 分野：学生支援

		評価	理 由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	B	定期的な医務室ミーティングにより、キャンパス間の情報共有を行い、学生の健康支援の充実に向けた取り組みが進んでいる。また、心電図検査をはじめとして、要精密検査となった場合は専門医のいる病院を案内する体制を構築し、受診がスムーズになり結果も速やかに分かるようになったことは評価できる。学生の定期健康診断の受診率については、2023年度と比較すると増加しているものの、やや目標を下回った。一方で、受診率が80%を超えている点については、評価できる。学生全員が健康状態を確認できるように引き続き、定期健康診断の受診率向上に向けて、広報活動の充実が望まれる。
中期計画	2 修学支援の充実	B	修学にあたり特に支援が必要な学生については、学生の未来センターを中心に支援する体制ができている。ポートアイランドキャンパスの相談員採用による、マンパワの改善は明るい兆しである。引き続き、教務センターとの連携、外部の協力機関に学生をつないだケースの検証、各学部の休・退学者の特性の調査を進めて退学者防止体制の強化を期待する。学生への経済支援については、大学支給奨学金規程の見直しを行い、より適切な制度に規程改正できたことは評価できる。今後も、様々な方面から修学支援の充実を図るとともに、全学的な連携が進むことを期待する。

中期計画	3 学生の多様性に配慮した支援	B	教職員向け「障がい学生支援ガイドブック」は非常に完成度が高く教職員の障がい学生への理解や適切な支援方法を学ぶ上で非常に有益なガイドブックであり、障がい学生の多様なニーズにあわせて適切な支援体制の構築に寄与するものと考えられる。さらに、教員間での積極的な情報共有による発展の起爆剤にもなり得ることから、本学の障がい学生支援の向上に資する取組みであり高く評価できる。また、内外に対してこうした取り組みを理解してもらえよう広報活動も重要と考えられることから、今後の課題として検討をお願いしたい。
中期計画	4 課外活動の奨励と支援	A	課外活動団体に対する支援金制度を見直し、課外活動のさらなる活性化を図ることができている。また、課外活動施設の整備においても、課外活動団体へのアンケートに基づき、各課外活動団体の必要性に応じた施設の整備が進んでいる。今後は、指定クラブ重点強化、課外活動行事などへの参加者数増加に向けた施策の実施や、施設整備計画の実行による第6グラウンドの課外活動施設の整備並びに、KPC2のさらなる活用を期待する。
中期計画	5 キャリア支援の充実	B	本学主催のインターンシップ、単位認定型就業体験プログラム、就職支援協定締結府県主催行事の開催によるキャリア支援が継続できている。キャリアセンターによる進路把握率については、昨年度同時期より大幅に上昇していることは評価できる。また、グローバル・コミュニケーション学部における独自のインターンシッププログラムの実施、心理学研究科における公認心理師のキャリア支援等、学部・研究科独自のキャリア支援も確立できており、評価できる。今後も、全学的な学生のニーズに応じたキャリア支援の推進が望まれる。

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る